

Press Release

令和元年秋の外国人叙勲
ウドマ・ウド・ウドマ氏
ナイジェリア初の旭日重光章受章

2019年11月3日
在ナイジェリア日本国大使館

2019年11月3日、日本政府は、令和元年秋の外国人叙勲受章者を発表しましたところ、ナイジェリアからはウドマ・ウド・ウドマ氏が叙勲されることとなりました。

同氏は、日本・ナイジェリア間の関係強化及び友好親善に寄与した功績が認められ、本年、天皇陛下の名の下に与えられる上位の勲章の一つである旭日重光章を受章されます。優れた弁護士であるウドマ氏は、2015年から2019年にナイジェリア連邦共和国の予算・国家計画大臣、2011年から2015年に駐ラゴス日本国名誉領事を務め、日本政府から旭日章を与えられる初めてのナイジェリア人となりました。

- ・賞賜： 旭日重光章
- ・功績概要：日本・ナイジェリア間の関係強化及び友好親善に寄与
- ・氏名： ウドマ・ウド・ウドマ (Udoma Udo Udoma)
- ・主要経歴：予算・国家計画大臣、駐ラゴス日本国名誉領事
- ・住所： ナイジェリア連邦共和国ラゴス

ウドマ氏は日ナイジェリア関係強化に向け、長年尽力してきました。2015年から2019年には予算・国家計画大臣として、日本の対ナイジェリア開発協力を推進してきました。2015年には、ナイジェリアにおいて日本は第3位のドナー国となり、同氏の在任中に、保健やインフラに係る多くの開発協力案件が実施されました。両国の経済のため利益を生み雇用を創出するため、二国間の貿易やナイジェリアにおける日本の投資促進にまで同氏の貢献は及びました。2011年から2015年に駐ラゴス日本国名誉領事任在時、日ナイジェリア間の経済的及び社会的関係深化への寄与は卓越していました。企業間取引の橋渡し役として経済関係を支援し、ナイジェリアにおける日本企業のプレゼンス及び投資拡大及び促進に貢献しました。

旭日重光章



旭日重光章は、最も格の高い旭日章の一つで、明治8年（1875年）に我が国最初の勲章として制定されました。勲章のデザインは、昇る朝日と日射しをかたどっています。天皇陛下の名の下、国際関係、日本文化の促進、福祉の向上、環境保存において顕著な功績を挙げた者に授与されます。旭日章は以下で構成されます。

1. 旭日大綬章
2. 旭日重光章
3. 旭日中綬章
4. 旭日小綬章
5. 旭日双光章
6. 旭日単光章